



# かかがやき

かんがえる  
がんばる  
やさしく  
きたえる

時津町立鳴鼓小学校  
学校だより R6年度第14号

令和7年1月10日  
文責：校長 今井大輔

新年あけましておめでとうございます。  
輝かしい新年の幕開けにあたり、心よりお祝い申し上げます。

さて、子供たちは冬休みを元気いっぱいに過ごし、新しい年、新しい学期のスタートにあたり、どの学級からも子供たちの明るい声が響き渡り、活気あふれる一年の始まりを感じています。

鳴鼓小学校の教職員一同は、子供たちが心身ともに健やかに成長し、大きく羽ばたくことができるよう、精一杯の力を尽くしてまいります。保護者の皆様におかれましても、本年も変わらぬご支援とご協力を願い申し上げます。

鳴鼓小学校が、子供たちにとつて学びと成長の場として、そして地域に開かれた学校として、さらに発展していくよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

始業式で「夢」の話をしました。有名なスポーツ選手（大谷選手、本田選手）や作家（

・K口ーリングさん)を例にあげました。多くの大人が小学生時代から夢描いていた目標に近づくように努力した結果、目標を達成して、今に至っていることを語りました。ワールドカップでMVPとなつた澤穂希選手の「夢は見るものではなく、叶えるもの」という言葉も紹介しました。

式の中で「今、自分の夢がある人?」と尋ねたところ全校の10分の1ほどの手が挙がりました。少し寂しい気がします。子供の時は、「夢」「希望」を抱いて日々を過ごしてほしいと、私自身は常日頃から思っています。まずは、私たち大人(教師や親)が夢を語ることが大事だと思っています。

夢を語れる子へ



おんのくほねく

1月5日、左底地区の伝統行事である鬼火焚きが盛大に開催されました。地域の方々の温かいおもてなしのもと、子供たちも笑顔で参加し、楽しい時間を過ごしました。12日には、久留里地区でも同様のイベントが予定されています。地域の伝統文化に触れる絶好の機会ですので、ご家族皆様で参加してみてはどうでしょうか。

スマホはとても便利だけど、使い方を間違つたら、知らない人とつながって、事件にまきこまれたり、フェイク動画など、うその情報を信じてしまうかもしれないから、正しい使い方をしていきたいです。

(6の2 笹田さん)

メディアに依存してしまって、友達と遊ぶ時間が減つたり、ご飯よりもスマホやゲームなどを優先してしまつたりなど、生活にとても支障がでてしまうことが分かりました。

(6の1 吉原さん)

9日（木）の5校時、6年生は、メデイアリテラシーに関する特別授業を受けました。講師の田口雅一先生（鳴北中）からは、ゲームやSNSなど、子供たちの生活に欠かせないメディアとの付き合い方について、具体的なアドバイスをいただきました。グルーブワークでは、友達との意見交換を通して、メディアのメリットだけでなく、使い方によって生じる問題点についても理解を深めました。急速に変化する情報社会の中で、子供たちが賢くメディアを活用できるよう、今後も様々な取り組みを進めていきます。（子供たちの感想を一部抜粋して紹介します。）